

令和4年度
鳥取県職員採用試験（大学卒業程度（追加募集）） 集団討論課題

※各試験日において異なる課題を出題

令和3年度鳥取県に関するイメージ調査結果※によると、鳥取県の「特産物」の認知度は、上位3位が「二十世紀梨」60.3%、「砂丘らっきょう」34.0%、「カニ」30.2%となっている一方で、「ひとつもない」が27.2%という結果でした。

この「ひとつもない」をゼロ%にする方策について、様々な観点から討論してください。

※令和3年度鳥取県に関するイメージ調査

調査方法：インターネットによるアンケート調査

調査期間：令和4年1月28日から2月3日まで

調査対象：首都圏、中京圏、関西圏、中国・四国圏、九州圏の12都府県に居住する各年代別男女5400人

太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスといった再生可能エネルギーによる発電の推進と、景観や自然環境の維持を両立させるためには、どうすれば良いか討論してください。

鳥取県の関係人口を拡大させるためには、どのような方策が効果的か、討論してください。

※関係人口：観光以上、定住未満のつながりで、移り住むことはできなくても、地域や地域の人々と多様にかかわる者

仕事をしていく上で必要な「話を聞く力」とはどのような力と考えられるか、また、それらの力をつけるためにはどのような経験・訓練が必要かについて討論してください。

近年、部活動を学校単位から地域単位の取組とする動きがあり、今年6月にスポーツ庁、8月には文化庁のそれぞれの有識者会議が、公立中学校等における部活動の地域移行に関する提言を取りまとめました。

部活動を学校から地域に移行することのメリット・デメリットをそれぞれ討論してください。